はなみずき

発行
東部区民活動センター
運営委員会
〒164-0011
中野区中央 2-18-21
TEL　3363-0631
FAX　3363-0632

2015.3.15　第16号

十中、三中で命学ぶ教室

14歳vs. 0歳。東部地域の区立中学の２年生と地域の赤ちゃんたちが対面する「ふれあい教室」が、授業の一環としてこの秋も開かれました。中学生は初めて抱っこする赤ちゃんのやわらかさに「かわいい……」と思わず表情を緩め、うっとり。大切なわが子を連れてきてくれたママ・パパたちは「いまどきの中２、意外とやさしい。将来のイクメン？」。ひごろ顔を合わせない世代が新たな信頼関係の手ごたえを得たようです。

中2諸君、育児へ一歩

1 まずは人形で基本の抱き方を練習。

2 赤ちゃんとママ・パパ登場、自己紹介。

3 おもちゃなどで赤ちゃんと遊ぶ。

4 抱かせてもらう。

中学生から「ありがとう」

- 「思ったより重くてびっくり。すぐ泣くかもと思ったら、口を大きく開いて笑ってくれました。眠くて泣いてしまう姿もかわいくて癒されました」
- 「とにかくかわいいです。あたたかくて、小さいのに重たくて」
- 「赤ちゃんのことを話すお母さんの顔がとてもうれしそうでした。お母さんのすごさを感じました」
- 「お母さんにありがとうを言わなくちゃ」
- 「ぼくたちのために赤ちゃんを連れてきて下さってありがとうございました」

ママ・パパから「ありがとう」

- 「どの生徒さんも興味を持って抱っこしてくれたので嬉しかったです」
- 「中学生の雰囲気や赤ちゃんへの接し方に不安があったけれど、大丈夫でした」
- 「男子は照れがあるようで、何を尋ねていいかわからないようだった。私も伝えたいことがたくさんあったのに、時間が短くて」
- 「新鮮な体験でした。息子の名前を呼んでくれて嬉しかった」
- 「赤ちゃんにふれたいという思いをひしひしと感じました」
- 「街で会ったら、気軽に声をかけてくれると嬉しいです」

この「ふれあい教室」の前身は２００１年に始まった中高生のための講座です。「親になってはじめて赤ちゃんを抱く親が増え、育児不安が増している」状況を改善する目的で、城山ふれあいの家（さくら館）の呼びかけに応じた地区の有志の主導により、カナダのプログラムを導入した「赤ちゃん保育ボランティア養成講座」としてスタートしたもの。10年にわたり、赤ちゃんの発育の勉強、抱き方の練習、実際の赤ちゃんとの触れ合い、一日保育園実習などのカリキュラムが続けられてきました。中学校では旧九中で２００８年に初めて1年生全員を対象に行われました。三中は２００９年から、十中では２０１３年から2年生全員を対象に授業の一環として続いています。

今回、三中には14組、十中には19組の家族が赤ちゃんを連れて訪れました。ほとんどが地域の乳幼児親子の居場所「ぴよぴよひろば」「ぽぽたんルーム」「ベビママさろん」に通っている親子で、地域の地道な活動が異世代交流を実現させた例になりました。

じつは事前に熱い講義

「よく勉強している」と褒められた中2諸君、実は前日の保健の授業で、リアルで厳しい講義を受けたのです。以下、松が丘助産院 宗祥子先生のお話の抜粋です。

赤ちゃんって奇跡

ひとりの女性が一生に作る卵子は７００万個。そのうち人間になれるのは、最近の家族数から考えると1個から5個です。人間になるというのはすごい奇跡なんですよ。みなさんは奇跡的な確率で生まれてきた存在です。

自分の体を大切に

毎晩夜更かししたり、化学物質がガンガン入っている菓子やインスタント食品ばかり食べていると、孫の代まで影響がでます。赤ちゃんを産むためにも、感染症から体を守るためにも、健康的な生活をして免疫力・抵抗力を高めましょう。

知性で本能を律して

男子が性的な欲求を持つのは生物として当然の本能だけど、うまく勉強やスポーツに転化していってね。人間には欲求をコントロールできる素晴らしい知性があるんだから。

悩むより相談して

また、不幸にして性犯罪に巻き込まれたら、72時間以内なら妊娠を取り消せる薬もあります。すぐ相談してください。自分は大丈夫、と思っているでしょ。実際にそういうケースがあるから言うんですよ。どうか自分を大切にしてください。

コラム　なかま

落語家　桂　米丸
高根町会在住

思い出

早いものです。東中野に住んで六十年。横浜生まれの私にとっては第二の故郷（ふるさと）です。

えっ？　何故東中野だとおっしゃるんですか、実は私も三十歳になる、そろそろ結婚しなさいという師匠古今亭今輔の言葉で一門の円右さんの紹介で見合い結婚、明るく笑い上戸で、落語家の女房にはもってこい。

円右さんの姪に当たるそうで、落語家の生活はよくわかっていたとみえて気楽でした。

スタートはアパート探し。実家が高円寺だったので、近すぎず遠すぎない東中野辺りがどうだろう。周旋屋さんが案内してくれた駅から七分という城山町の高橋さんの新築の二階が気に入った。六畳一間、トイレは四軒で共同、家賃四千円。それもどうやら気に入ったらしい。私は城山町という町名が良かった。

落語家が出世すると町名で呼ばれる。目白の師匠、黒門町の師匠とか。私もえらくなって城山の師匠と呼ばれたい。それが町名変更で中野一丁目。これじゃバス停だ！

そんな私の思い出をちょっと語ってみました。

落語芸術協会最高顧問
平成4年紫綬褒章
平成10年勲四等旭日小綬章受章

H·H

東部の○○　第15回
東中野駅前広場オープン

▲平成27年3月2日現在

3月1日、東中野駅西口に広場が春の風とともにオープンしました。思えば40年の間、山手通りはいつも工事中でした。都営地下鉄大江戸線・首都高速中央環状線の大工事、それに伴う歩道などの整備、東中野駅付近の道路は鉄板の道でした。

それもついに終わり。東中野は、この広場を玄関口として、新しい魅力に満ちた町になろうとしています。

もともと東中野は、都内でも有数の文化の薫り高い町でした。かつては多くの文人墨客が居を構え、政・財・官界の著名人、また多くの法律家や戦前には軍人さんが集まりました。

商店街は賑わい、地方出身の学生にもやさしい町、終戦後は、バラック建ての不動産屋さんが軒を連ねていました。

しかし東中野駅への道はどれも狭く、東京近郊でも珍しく、パッとしない地味な駅回りでした。

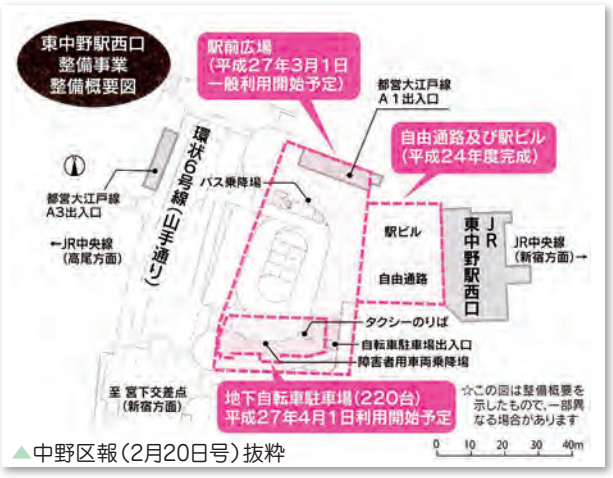
世界の大都市にはその核となる広場があります。ニューヨークにはタイムズ・スクェア、パリにはコンコルド広場、ロンドンのトラファルガー広場。ローマではスペイン広場、ブリュッセルのグラン・プラス、モスクワでは赤の広場、北京の天安門広場……。

広場には人が集まり、様々な催しがあり、庶民の情報交換の場になります。

しばらくの間、東中野駅前広場は、バスやタクシーのロータリー機能が優先されますが、この広場を生かすも殺すもみなさんの知恵です。東中野にふさわしい広場を、みんなで作っていきましょう。

かつて東中野駅は、現在の東口が表玄関。にぎやかな商店街が自慢でした。東口はいま、少しばかり取り残された感があります。東口をどう作っていくか、これからの地域最大の課題であろうと思います。

（文●小野　光）



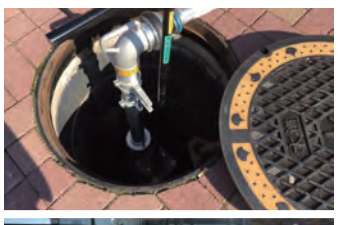
▲中野区報（2月20日号）抜粋

東部総合防災訓練の報告

平成26年11月22日(土)東部区民活動センター運営委員会の主催によるはじめての防災訓練が開催されました。当日参加者は、午前9時に各町会の集合場所に集まり、防災倉庫の点検や高齢者の安否確認、炊き出しなどそれぞれの町会独自の訓練を行いました。

その後、10時に集合場所から移動開始。途中、車いすを押したり、消火器の位置や避難ルートの確認をしながら歩いて十中まで行きました。14町会が集結した十中では、校庭で消火訓練（スタンドパイプや消火器の使い方）、救出・救助訓練（重い物の下敷きになった人を助けるための機材の使い方）、応急手当訓練（AEDや三角巾の使用法・簡易担架作り）の3か所を回り、全員が一通りの体験をすることができました。

町会の行事には参加しにくいと思っていましたが、はじめて町会の防災倉庫にある防災資機材を確認してみたら、組み立て方法や使い方のわからないものなどがあり、大きな災害が起こったときに慌てないように、普段から訓練すること、地域の住民同士が顔見知りになることの大切さを知ることができた訓練でした。



▲上:黄色のマンホールは消火栓
▼下:参加者全員が体験

健康生きがい事業 平成27年度

宮園高齢者会館では、健康づくり・介護予防等を目的とした事業を行っております。

平成27年度より事前申し込みになりました。

対象者●区内在住60歳以上の方
参加費●無料
申込み●3月9日(月)～27日(金)
平日10～16時
来館（お一人1事業のみ申込み可）
※申込み多数の場合は抽選します。抽選結果4月1日館内に掲示発表。
申込み受付・会場・問合せ●宮園高齢者会館（東部区民活動センター1階）☎3365-0318

事　業　名	定　員	日　程（回数）
リフレッシュ体操（女性限定）	30名	毎月第2・4月曜日午後（全20回）
アクティブ・エクササイズ（男性限定）	25名	毎月第2・4月曜日午後（全20回）
体幹トレーニング（女性限定）	30名	毎月第1・3水曜日午前（全20回）
みんなで歌おう会（午前の部）	30名	毎月第2・4水曜日午前（全20回）
みんなで歌おう会（午後の部）	30名	毎月第2・4水曜日午後（全20回）
フラダンス　（女性限定）	25名	毎月第1・3木曜日午前（全20回）
げんき体操	30名	毎月第2木曜日午後（全11回）

わくわく講座

「和音」サロンコンサート

「和音」
日本の伝統楽器である箏を演奏する男性二人組

日時●3月25日(水)
11時45分～12時30分
会場●宮園高齢者会館洋室A・B
対象●区内在住60歳以上
参加費●100円（軽食・コーヒー付）
申込み●3月16日～23日
宮園高齢者会館まで、先着50名
☎3365-0318

ー編集後記ー

東日本大震災後、何か地域のお手伝いになることはできないかと考えていた矢先、広報部員のSさんに道端で偶然声を掛けられました。そんなきっかけで「はなみずき」3号～16号のレイアウトを担当することになりました。東部地域の駅・町会の掲示板・図書館などで、自分の拙いデザインを見るたびに、気持ちを引き締める3年間でした。

今号で「はなみずき」を卒業します。ありがとうございました。人々の絆を結ぶ、ハブとしての役割をもつ「はなみずき」が、益々地域の皆様に愛されることを願っています。とは言え、ピンチヒッターで登板となることもあるかも。そのときは、またよろしくお願いします。

（C・W）

集会室抽選日5月分 3月16日（月） 6月分 4月20日（月） 7月分 5月18日（月）

次号は6月発行予定です。